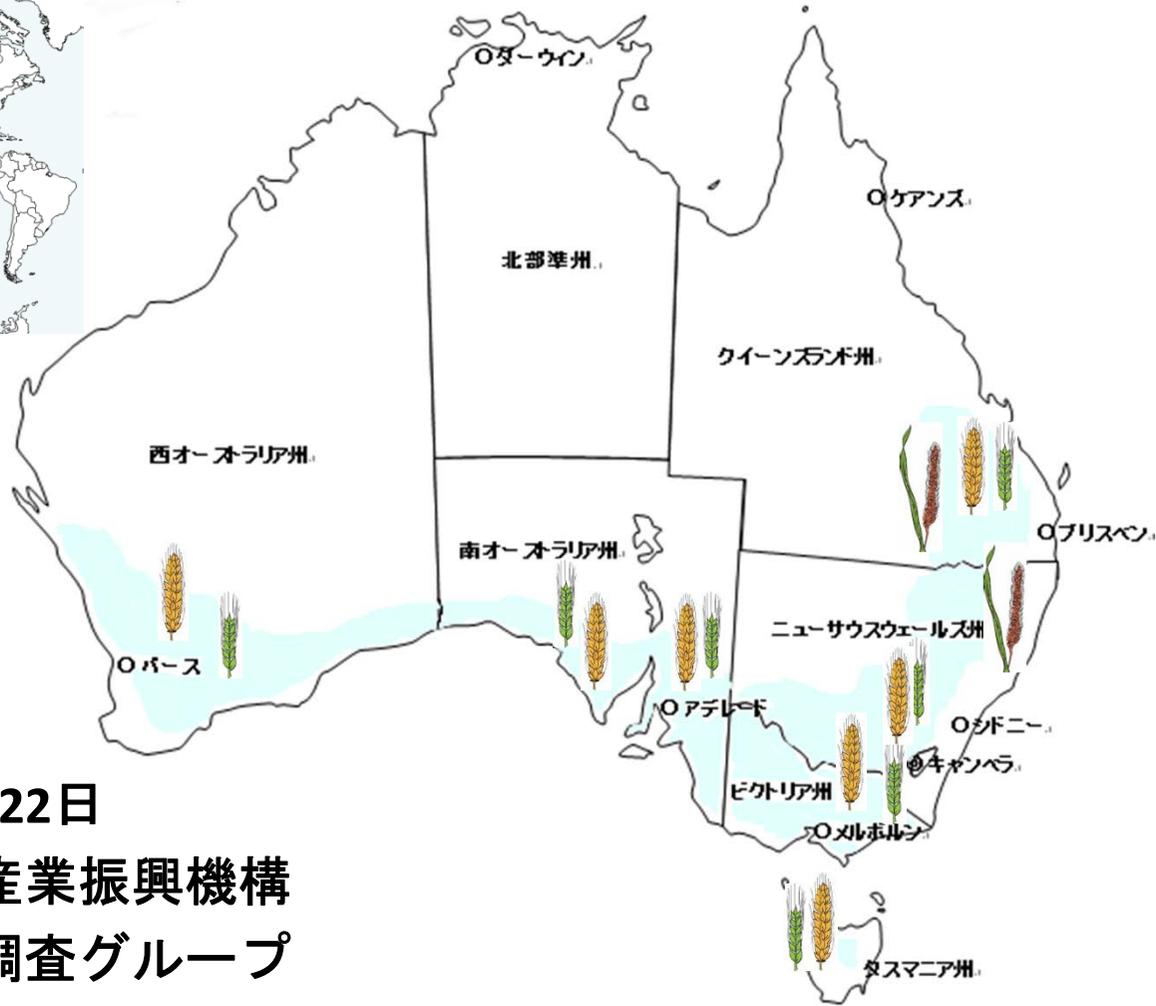
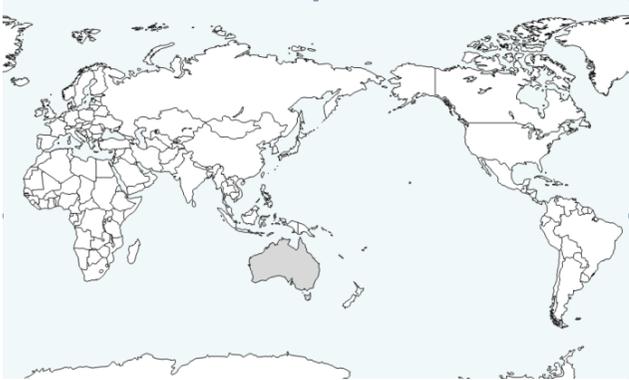


豪州における穀物生産見通し



2012年11月22日

独立行政法人農畜産業振興機構
調査情報部 国際調査グループ

伊藤 久美

調査の目的

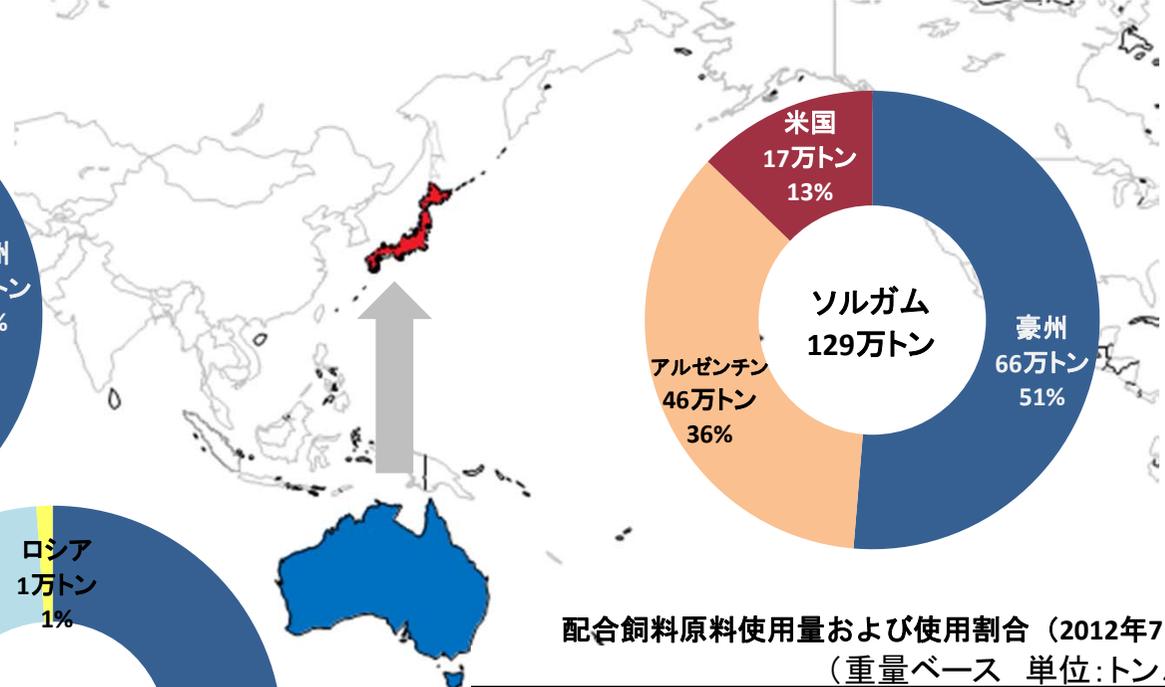
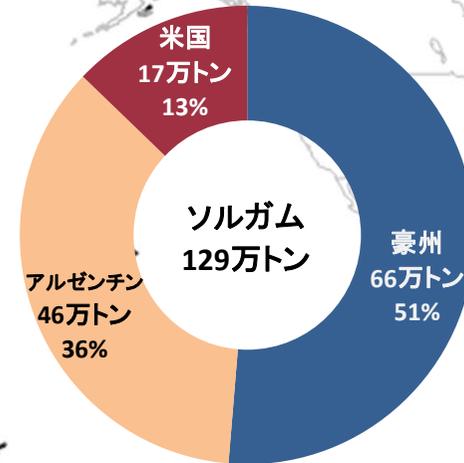
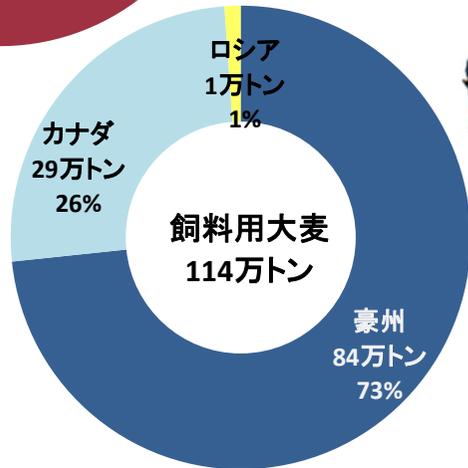
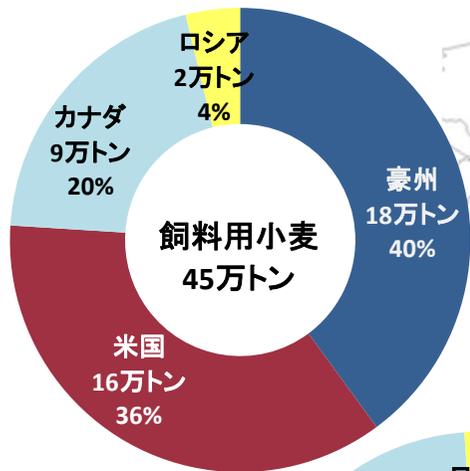
米国の干ばつによる減産や飼料穀物価格高から、重要度を増すと思料される豪州の飼料穀物について、2012/13年度の生産状況を把握する。

本日の報告内容

1. 日本の輸入飼料穀物における豪州の位置付け
2. 小麦・大麦・ソルガム等の生産構造
3. 生産・消費・輸出の需給構造
4. 2012/13年度の生産見通し
5. まとめ

1. 日本の輸入飼料穀物における豪州の位置付け

豪州は、飼料用小麦、飼料用大麦、ソルガム（＝こうりゃん）の第1位の供給国（2011/12年度）



配合飼料原料使用量および使用割合（2012年7月）
（重量ベース 単位:トン、%）

	肉牛用	養豚用	ブロイラー用
数量	363,722	468,424	300,429
とうもろこし	39.1	44.0	39.0
ソルガム	1.2	10.0	15.4
小麦	1.9	10.1	2.3
大麦	16.3	1.2	0.0
その他	41.5	34.8	43.2

資料：農林水産省、配合飼料安定供給機構
注：飼料用穀物の輸入量は2011/12年度

2. 小麦・大麦・ソルガム等の生産構造

主要生産地域

西部地域

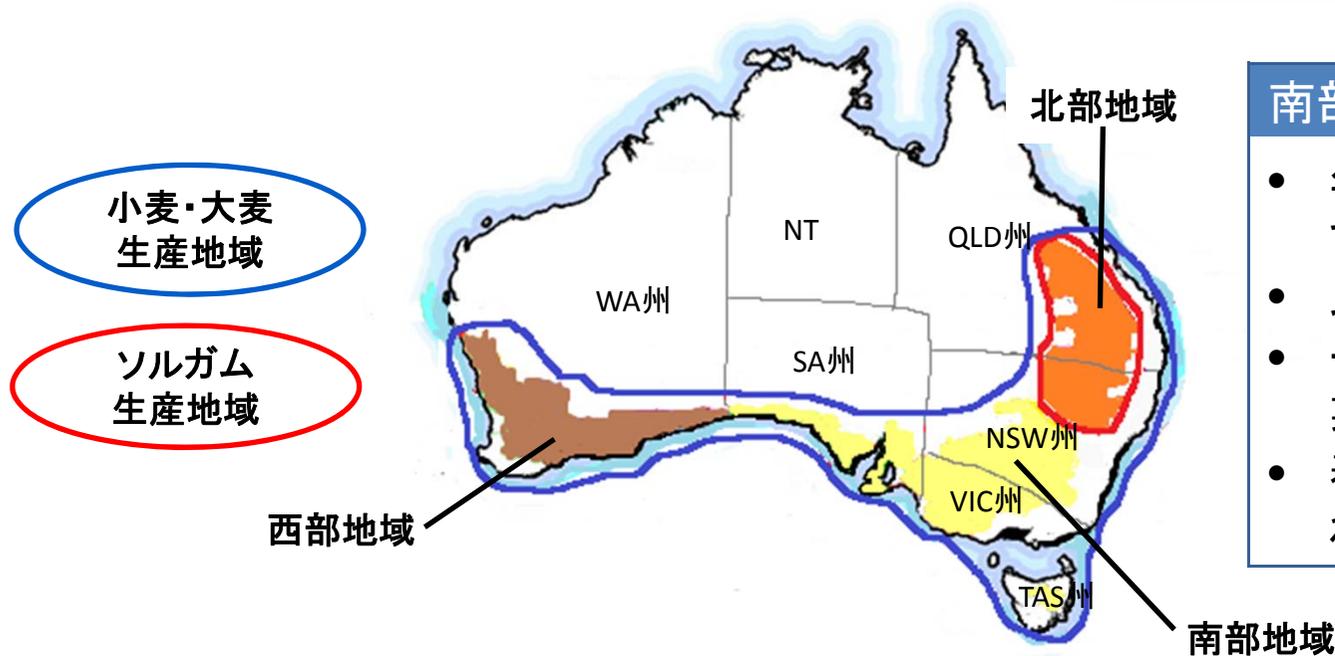
- 年間降雨量は200～400ミリと最も少なく、秋から冬にかけて雨量が集中
- 保水力が低く痩せた土壌
- 農作物の選択肢が狭く、冬作物のみ

北部地域

- 年間降雨量は400～800ミリで、夏の雨量が多い
- 保水力の高い肥沃な土壌
- 夏作物の栽培が可能

南部地域

- 年間降雨量は200～500ミリで、年間を通してほぼ一定
- 比較的痩せた土壌
- 一部地域では、かんがい農業により夏作物も生産
- 春の降雨に単収が左右される

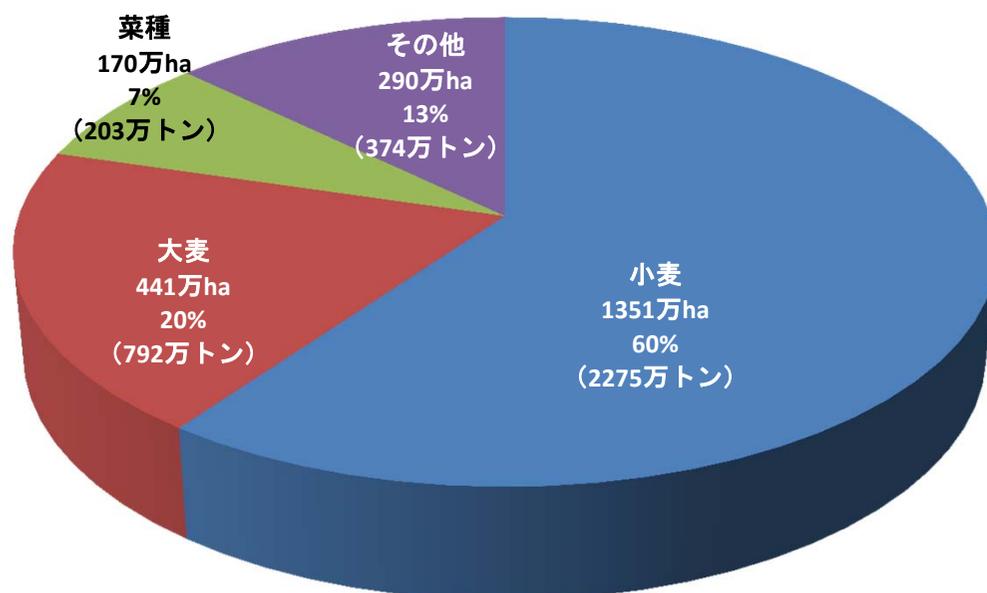


QLD州:クイーンズランド州 NSW州:ニューサウスウェールズ州 WA州:西オーストラリア州
VIC州:ビクトリア州 TAS州:タスマニア州 SA州:南オーストラリア州 NT:北部準州

農作物の生産体系

冬作物

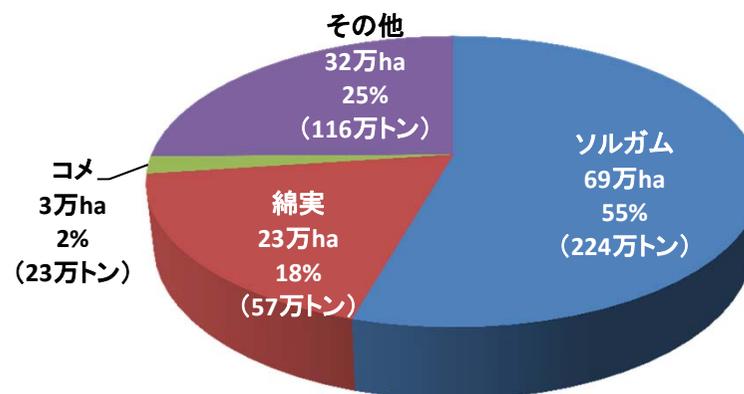
- 西部地域、南部地域、北部地域のすべてで生産
- 比較的乾燥に強い小麦、大麦を中心とした輪作体系
- 土壌窒素固定のために豆類(ルーピン、ヒヨコ豆など)を輪作体系の中に組み込む



冬作物 2252万ha (3643万トン)

夏作物

- 北部地域(肥沃な土壌を有するQLD州・NSW州の州境)や、南部地域の一部地域(NSW州のかんがい農業が可能な地域)で生産
- ソルガム、綿実が中心で、トウモロコシの生産はわずか
- 小麦や大麦など冬作物に夏作物を組み込んだ輪作体系



夏作物 127万ha (421万トン)

資料：豪州農業資源経済科学局 (ABARES)
注：2011/12年度 (7月～翌6月) の推計値

農作物の栽培暦

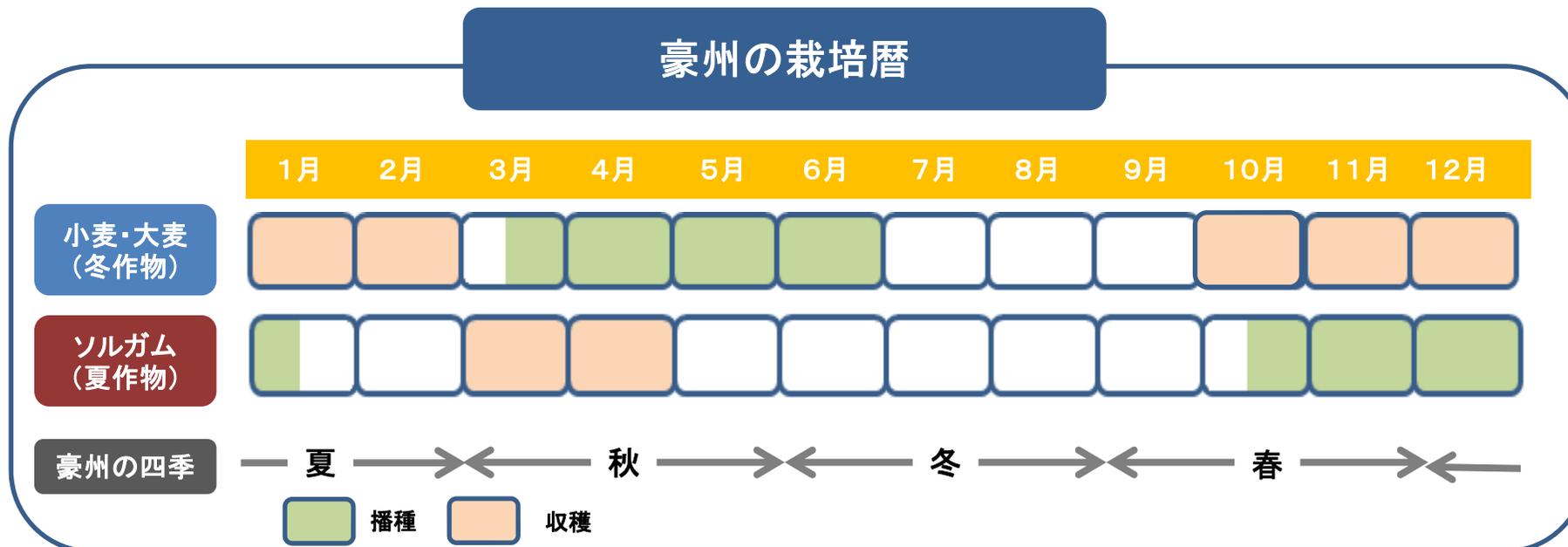
小麦・大麦(冬作物)

- 生産地域が広範囲に渡ること、栽培品種の栽培期間(短期・中期・長期栽培品種)の違いにより、は種期間・収穫期間が長期に渡る

ソルガム(夏作物)

- 短期栽培品種か長期栽培品種の違いにより、は種期が異なる

豪州の栽培暦

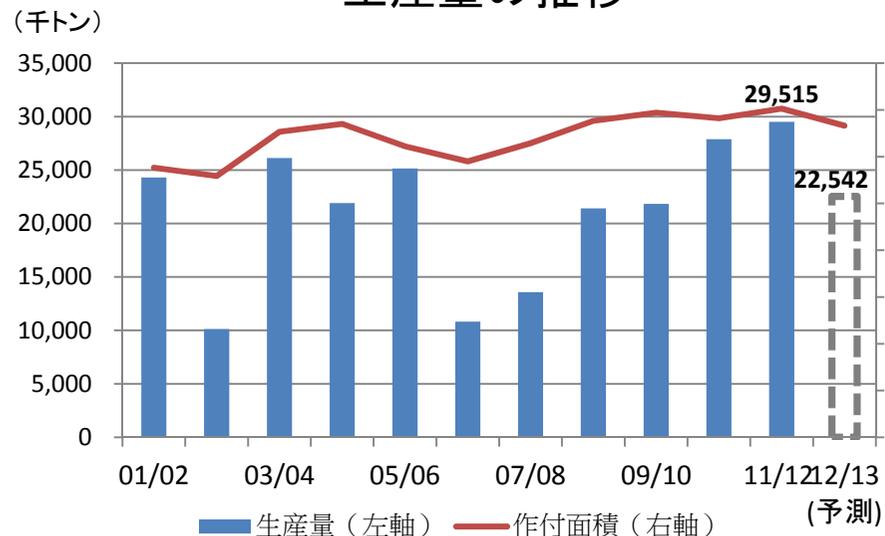


3. 生産・消費・輸出の需給構造

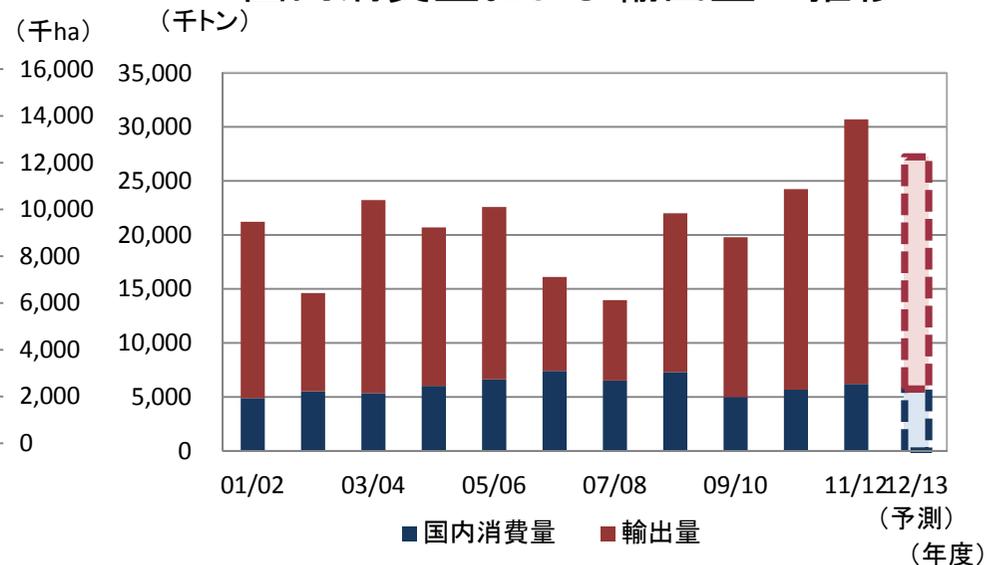
小麦の需給動向

- 干ばつの影響を受け2002/03年度、2006/07年度および2007/08年度に大きく減産
- 2010/11年度は東部州を中心に増産、2011/12年度は最大の生産地WA州で過去最高
- 輸出量は生産量の増減を反映して変動するものの、生産量の5割以上が輸出に仕向けられる外需志向となっている

生産量の推移



国内消費量および輸出量の推移



資料: ABARES
 注1: 年度は7月～翌6月
 注2: 2011/12年度は速報値

資料: ABARES
 注1: 年度は10月～翌9月
 注2: 2011/12年度は速報値

大麦の需給動向

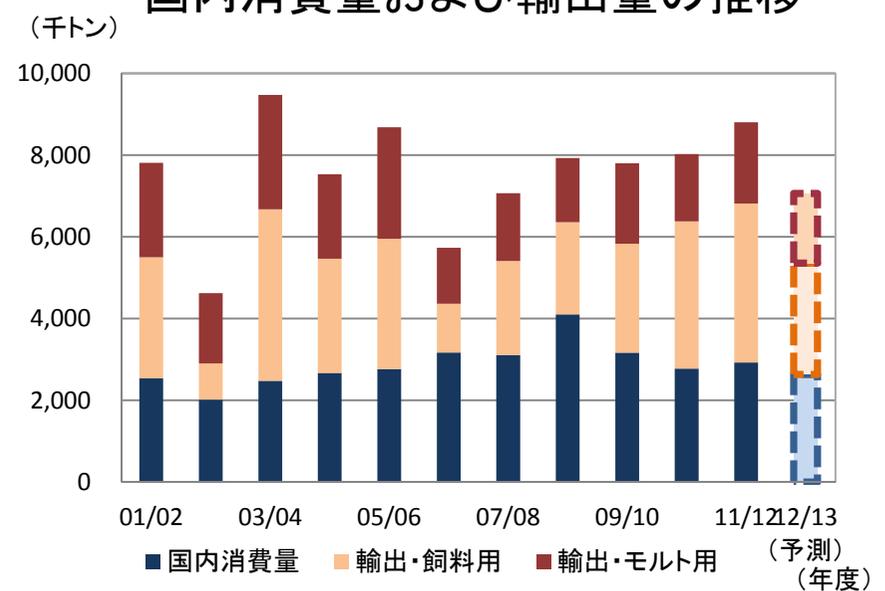
- 小麦と同様に干ばつの影響を受けるが、2007/08年度の干ばつの影響は軽微
- 国内の飼料需要を反映し、国内消費量の変動幅が小麦よりも大きい
- 飼料用の占める割合が高い

生産量の推移



資料: ABARES
 注1: 年度は7月～翌6月
 注2: 2011/12年度は速報値

国内消費量および輸出量の推移



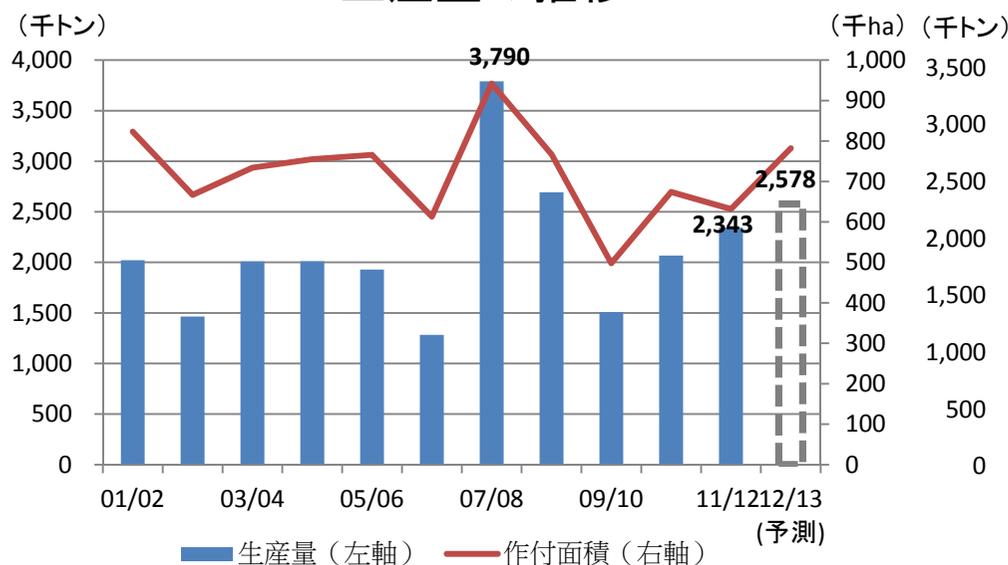
資料: ABARES
 注1: 年度は11月～翌10月
 注2: 2011/12年度は速報値

ソルガムの需給動向

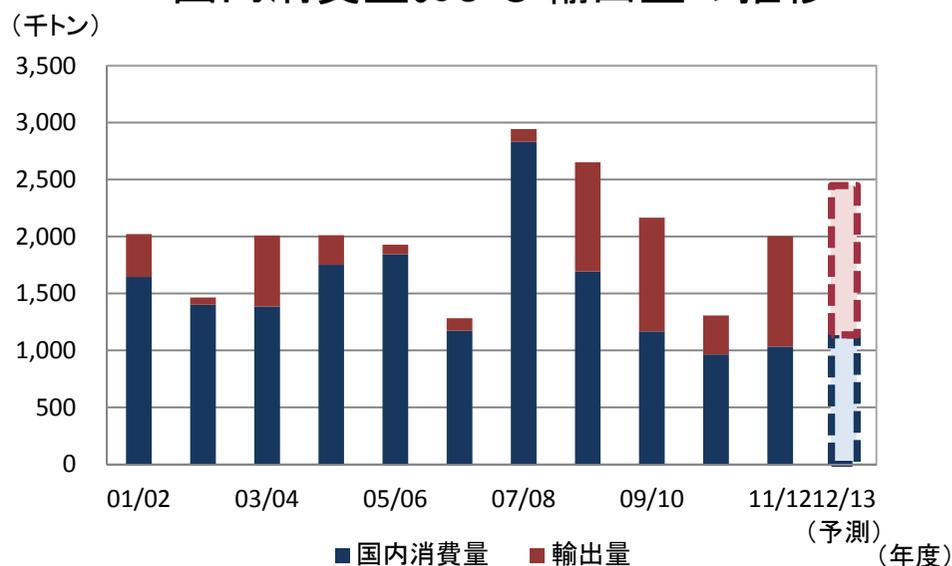
- 生産時期、主産地の違いから、生産量は小麦、大麦と異なる推移を見せる
- 2007/08年度は過去最高の生産量を記録
- 国内消費(畜産飼料)が太宗を占める



生産量の推移



国内消費量および輸出量の推移



資料: ABARES
 注1: 年度は7月～翌6月
 注2: 2011/12年度は速報値

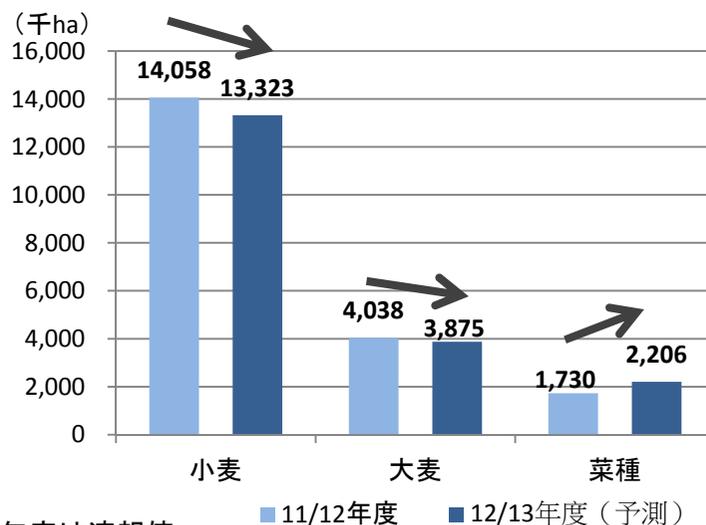
資料: ABARES
 注1: 年度は3月～翌2月
 注2: 2011/12年度は速報値
 注3: ソルガムは子実の部分

4. 2012/13年度の見通し

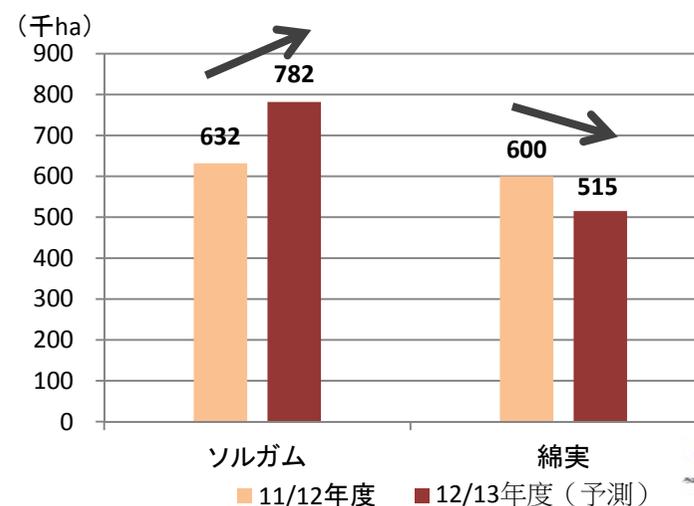
(1) 作付面積

- 小麦、大麦は冬作物である菜種や豆類、ソルガムは夏作物である綿実と競合関係
- 2012/13年度の冬作物は、堅調な菜種価格から作付けが菜種にシフトし、小麦および大麦の作付面積は減少
- 2012/13年度の夏作物は、現在、堅調に推移する穀物価格、低調な綿実価格から、綿実から作付けがシフトし、ソルガムの作付面積は増加見込み

冬作物の面積の推移



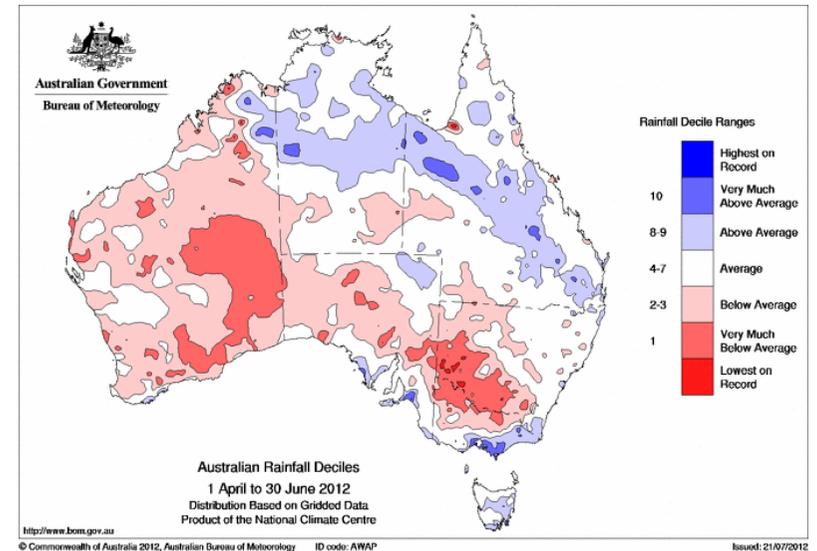
夏作物の面積の推移



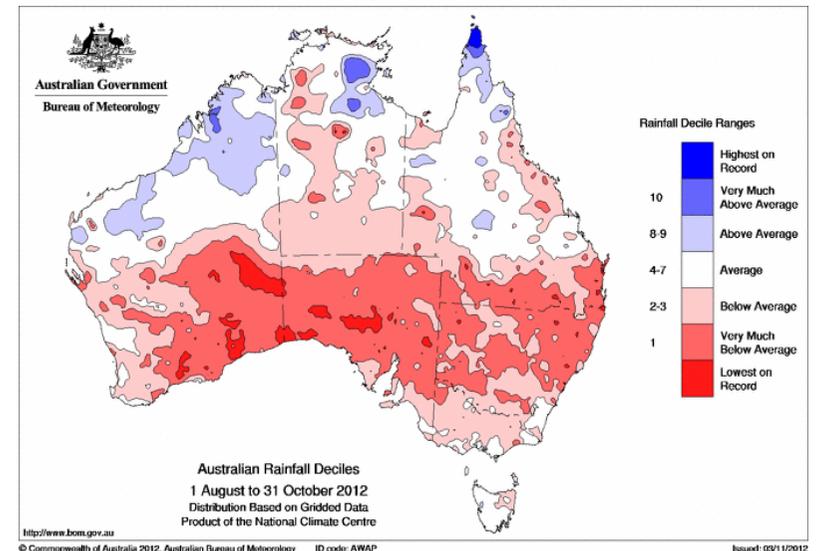
資料：ABARES
注1：2011/12年度は速報値

(2) 気象条件

- 豪州東部 (QLD州、NSW州、VIC州一部) で播種前の2011年10月～2012年3月の降雨量は平年を大きく上回り、十分な土壌水分と農業用水を確保
- 豪州南西部 (WA州やSA州、NSW州) で播種期の2012年4～5月に降雨量が平均を大きく下回り、播種や初期生育に悪影響
- 豪州南部で7月以降も降雨量が平均を大きく下回り高温乾燥、QLD州は平年並み
- 8月時点における下層部の土壌水分量は、豪州東部で高水準
- 9～10月に一部地域で霜害



上: 2012年4～6月 下: 2012年8～10月



資料: 豪州気象局 (BOM)

(3) 豪州農業資源経済科学局（ABARES）による生産量見通し(9月時点)

小麦 2254万トン(前年度比23.6%減)

大麦 696万トン(前年度比18.8%減)

ソルガム 78万トン(前年度比23.7%増)

(4) 関係者による見通し(10月時点)

① ABARESの生産見通しについて

- 小麦はさらに減産(2100万～2200万トン)
- 大麦は同程度の生産量

② 生産状況について

- 現段階では、飼料用小麦への仕向け量はそれほど多くないとの見方
- モルト用の作付け増から、飼料用大麦への仕向け量は通常よりも少ない可能性
- ソルガムの播種は適期の降雨により順調、12月末までの降雨により最終的な作付面積は増減する可能性

5. まとめ

小麦・大麦(2012/13年度)

小麦、大麦は減産の見込み

- 9～10月の広範囲の高温乾燥による単収低下
- 一部地域では霜害により収穫をあきらめ、畜産粗飼料として利用

飼料用への仕向け増加の可能性

- 現在収穫中の小麦や大麦について、タンパク含有量の低下が報告される
- 収穫期(10月～翌2月)の現在、一部地域で大量の降雨が観測され、今後、小麦、大麦のタンパク含有量低下が予想される
- 食用グレードのうちタンパク含有量の低いものを飼料用に仕向け

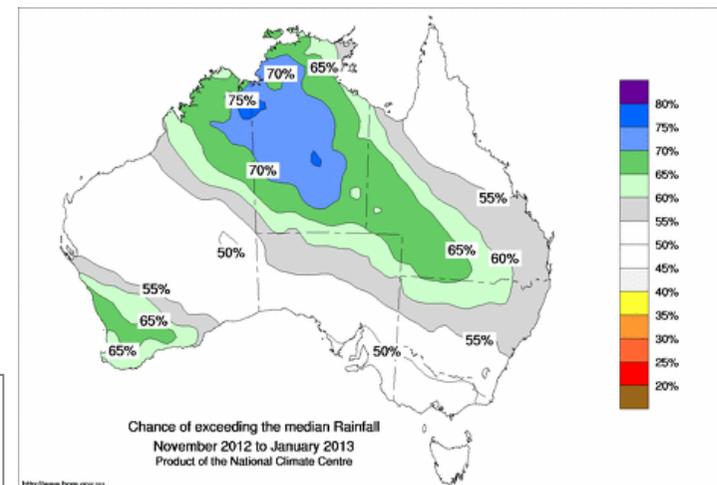
ソルガム(2012/13年度)

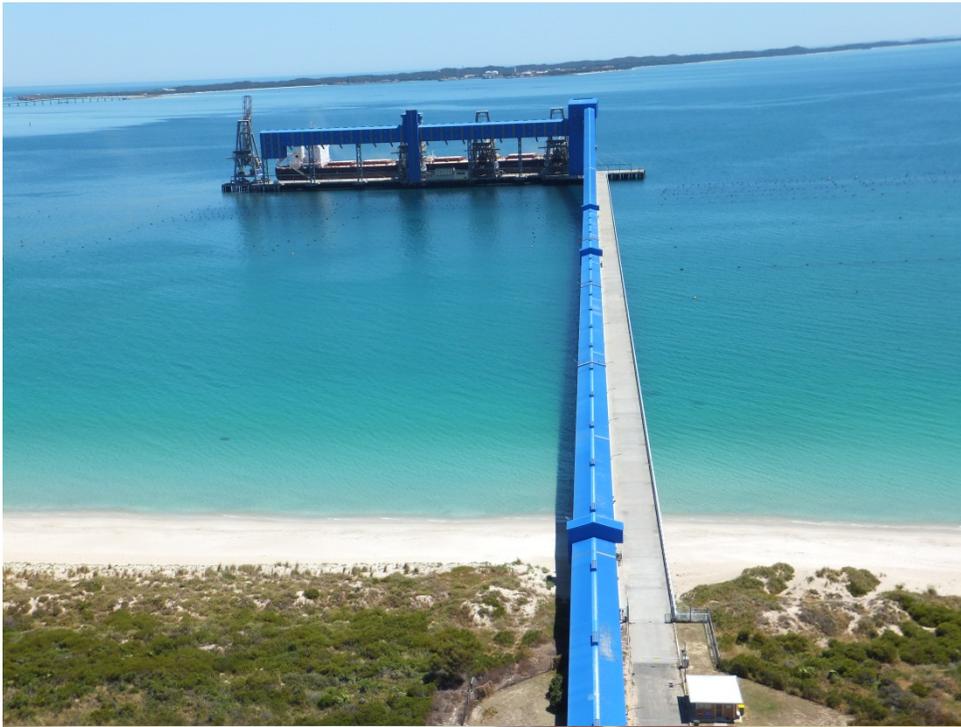
ソルガムは増産の見込み

- 収穫期(翌3～4月)までに、豪州気象局の長期予報によって予想される降雨から、作付面積の上積みと高単収を期待

ソルガム生産地では、播種期から生育期にあたる11月から翌1月にかけて、平均降雨量を上回る可能性が高いと予測されている

平均降雨量を上回る可能性





ご清聴ありがとうございました。

